



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



スポンサー 大阪クラブ DBC 近江八幡クラブ 広島クラブ

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題・スローガン

- 西宮クラブ会長 「楽しく充実した活動」 浅野純一
- Yサ・ユース 「次世代に向けてYワイズ・Y YMCA・Yユースが相互に、
事業主査 Wウィン・Wウィン・Wウィンで立場持ち場を越えて支え合おう」 小野勅紘
- 六甲部部长 「YMCA とのさらなる協働を目指して」 井出 浩
- 西日本区理事 「未来に灯そう希望の光り」
「互いに認め合おう 世界の友と」 深谷 聡
- アジア会長 「変革のための光となろう」
「親睦を通して、輝き、力を得よう」 利根川恵子
- 国際会長 「輝かそう、あなたの光を」 ウルリック・ラウリドセン
「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

2024年
3月
911号
(77期9号)



3月 西日本区強調活動 CS

CS 活動（地域奉仕活動）で輝く未来を。

～CS 事業報告、CS 事業資金申請と CS 献金も宜しくお願ひします。

川口 恵 地域奉仕・環境事業主査（名古屋）

西宮ワイズメンズクラブ 3月第一例会

日時：3月8日(金) 19:00～20:00
場所：西宮 YMCA 3階会議室
ドライバー：万本敬一、重村仁

- 開会の挨拶：浅野純一 会長
- ワイズソング
- 聖句朗読：メン
- スピーチ：万本敬一メン
「私のフレイル予防」（食事・筋力維持）
- お誕生日のお祝い
- ワイズニュース：浅野純一 会長
- YMCAニュース：森川俊介担当主事
- 閉会挨拶・浅野純一 会長

※会食はなし

3月誕生日のお祝い

- 11日 万本敬一メン
- 11日 森川加奈子メネット
- 24日 藤原俊夫氏

今月の聖句

そこで、イエスは言われた。
「剣をさやに納めなさい。
剣を取る者は皆、剣で滅びる。」

マタイによる福音書 26章 52節
藤原 百合子選

2月出席状況 (在籍会員数 21名)

第一例会 (9金)		第二例会 (16金)	
メン	15名	メン	10名
メネット	0名	メネット	0名
ゲスト	0名	ゲスト	0名
MU	0名	計	10名
合計	15名	出席率	71.4%

ファンド	2月	累計
ニコニコ	¥7,200	¥17,200
BF	¥4,100	¥17,000
献金	FF ¥3,405	能登地震支援 ¥32,119

会長 浅野 純一 直前会長 濱 浩一 副会長(次期会長) 濱崎 進一 副会長 足立 康幸
 書記 山口 吉郎, 小野 勅紘 会計 濱崎 進一, 重村 仁 監事 阪根 新, 丸山 悦治 担当主事 森川 俊介
 Yサユース事業主査 小野 勅紘 組織検討安全対策委員 山口 吉郎 次期六甲部長 小野 勅紘

会長メッセージ

会長 浅野 純一



能登半島地震、また航空機衝突事故の衝撃で幕が開けた令和6年ですが早くも3月に入りました。暖冬の影響なのか、梅の開花も例年よりかなり早く、私は2月13日に岡本梅林園を訪れたのですが、7分咲きとの印象を受けました。暖かさについて、昭和

55(1980)年の神戸の年平均気温は16.1°ですが、ここ10年のそれは17.4°で、1980年ごろの鹿児島気温に当たるそうです(NHK 気象情報より)。

最近では地質学と考古学の方から温暖化を解明しようとして進められています。世界的にみて10~12世紀は暖かく、13~14世紀は寒かったようです。グリーンランド(日本の面積の5.6倍)は現在、島の約80%が氷河に覆われています。952年にノルマン人のエーリックが発見した時、彼は「緑の島」と名づけました。名づける過程は必ずしも明らかではありませんが、氷海の北極海でびよこんと盛り上がって見えた島の緑が印象的であったようです。その後、入植が行われましたが寒さのためか長続きしませんでした。16世紀に再発見され、耕作が行われ、入植者も増えてデンマークの植民地になりました。寒さが緩んだのではと思われま

す。以前の例会で感染症についてお話させていただきましたが、中世末にヨーロッパでペストの大流行があり、人口の5分の1以上が亡くなったとされますが、それも寒冷化と関係があるようです。モンゴル帝国が崩壊したのも、またヨーロッパで近世を導いたルネサンスを登場させたのも寒冷化が大きく影響していることは有力な説です。

日本では平安時代は暖かく、鎌倉時代に寒くなったようです。平安時代(794~1192?)は安定した時代で、鎌倉から南北朝時代にかけて寒かったようです。もっとも最近では大河ドラマの影響からか平安時代を扱った番組が多くなり、番組の傾向は「果たして平安時代は平安だったのか」が一つのテーマになっていますが、私は平安時代には死刑制度はなく、それで済んでいることで平安時代は概ね安定し

た時代とと思っているのですが、勉強したいテーマです。

地球温暖化については果たして人間活動は大きく影響しているのか、一昔前「地球にやさしく」というフレーズがさかんにメディアから流れました。私は人間が地球(自然環境)をコントロールできるわけがないと思い、そのフレーズに反発しましたが自信などありません。人間の活動と地球の温暖化の関係について、研究は進んでおり、何年先かわかりませんが解明されるのではと思います。いまは、「環境破壊とか温暖化」とやたら声高に叫ぶ声に気を付けながら、プラスチックの廃棄やエネルギーの無駄づかいなどに気を付けながら過ごしていきたいと思

2月例会報告

2月ドライバー 山本 常雄
藤原 百合子

2月第一例会はTOFの月のため食事は用意されませんでした。当月のスピーカーは昨年9月28日より12月1日まで2ヶ月余りに亘るYMCA スタッフ研修



ステップⅡを終えて戻って来られた森川俊介ワイズ(担当主事)に、研修のあらましと纏め上げられました研修終了レポート「ヤングケアラー支援から考える地域における西宮YMCAの役割」についてお話を頂きました。

ステップⅡ研修は御殿場の東山荘や同盟本部(ほか東京周辺)で実施され、フィールドトリップでは仙台市内でのYMCA、児童館、子ども園等の施設見学、石巻では大川小学校で被災者ご父兄との面談や被災地域復興の様子見学や石巻



広域ワイズメンズクラブとの交流等が行われました。また福島では福島食品放射能計測所を訪問し被災の実態や対応策等を学習されました。

その他オンラインでヨーロッパ YMCA 同盟総主事とウクライナ問題・支援についてお話を伺う等充実した時間を過ごされました。研修生は全国9YMCAからの選抜された12名(26~61オ/うち女性は4名)で、共に学ぶことで仲間意識やきずな、新たな価値観、YMCA理解を得ることができたとのこと。



研修最後に研修報告とともにレポートとして出されたヤングケアラー支援の問題はテレビ等で盛んに報道されていますが、関わっている3つの学童保育の子供達の中に“ひょっとして”と見受けられる子がいたことからこんなに我々の身近に生じている問題であると改めて認識し取り組んでみようと思われたようです。(2020年の実態調査では、中学2年生の17人に1人が家族の世話をしているというデータも有るそうです)

そもそもヤングケアラーが顕在化しにくいのは
①一家庭内の問題であり表面化しにくいことや
②子ども自身や家族がヤングケアラーという問題を認識していないことなどの理由があげられるようです。

これらの問題に西宮 YMCA としてどう取り組んでいくかということで森川さんは5つの課題をあげて居られます。

- (1) ヤングケアラーの周知(講演会やワークショップ)
- (2) 相談窓口機能のあるYMCAであること
- (3) 保護者同士をつなぐYMCA
- (4) 他機関との連携の強化
- (5) 子育て循環ビレッジ構想

このような社会的な動きに鑑み、西宮 YMCA は、

「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、特にヤングケアラーや生きづらさを感じる子ども・若者に対して支援を行うことが重要であると考えています」とレポートを締めくくられました。

質問タイムでは、以下のことを答えていらっしゃいました。

研修で一番勉強になったことは 団体の一員としてどう歩むか 熟考できたこと、また今後は馬場さんや藤原さんからの投げかけにもありました「子どもたちの現状の課題の一部をワイズの皆さんにも知って頂き一緒に何ができるかを考えていきたい」と結ばれました。西宮ワイズとしても今後どのように関わって行けばよいのか、更なる協議や話し合いが必要かと思えます。



お誕生日のお祝いは12月~2月の3か月間を集約したため、9名の方々が対象となり、久しぶりのご出席の馬場貴英ワイズに代表してお話頂きました。



出席者は浅野会長、足立、岩田、小野、重村、馬場(一)、馬場(貴)、濱崎、廣瀬、藤原、万本、森川、山口(吉)、山本の14名(濱崎は親睦会参加)

例会は午後8時に終了し、夢庵に場所を移動し懇親会を行いました。

青は何色？

藤原 俊夫

青空をあらわす漢字にタイガースの六甲虱で有名な「蒼天翔ける 日輪の」の「蒼天」があります。この「蒼」という字の意味は「青＝ブルー」ですが、「青」という字には色々意味があり、「青空」の青は「ブルー」、「青菜」の青は「グリーン」、その他「青二才」の青は「未熟」とややこしいところがあります。

では鳥の世界はどうでしょう。鳥の名前の場合、「青」がつく鳥には、アオゲラ・アオサギ・アオジ・アオバズク・アオバトなどがいますが、青葉の頃に渡ってくることから名が付いた「アオバズク」以外は全部、色が「青い」のでそう命名されています。しかしその青色は何色なんでしょう？

日本では緑色の羽をした鳥の名には「アオ」を充てるのが原則なのですが、ただ、アオサギのように青灰色の羽の鳥もいて厄介です。しかし残りの3種（アオゲラ・アオジ・アオバト）はすべて鮮やかな新緑の色調です。これらの鳥はなかなかお目にかかれない種類ですが、アオゲラは神戸の森林植物園のシンボルで、園内に常駐していますし、アオバトは早朝の服部緑地の池に水を飲みに来るそうなので、ご興味のある方は是非お出かけください。なおアオジは冬にしか見られませんが注意して見れば町なかの庭にも現れます。

それではブルーバード＜青い鳥＞のことはどう呼んでいるのかと言うと、青い鳥の名には「ルリビタキ」「オオルリ」などのように「ルリ（瑠璃）」の字を充てるということになっているそうです。

追伸

アオジの仲間に「クロジ」という鳥がいます。お商売をされている方には大歓迎の名前ですが、これは雄の羽色が黒っぽい灰色です。臆病な冬鳥なのでなかなかお目にかかれません、もし会えたらラッキーですね。

★参考 過去の投稿

- 21.03 メジロ：梅にウグイス？
- 21.12 ハクチョウ：白鳥はかなしからずや
- 22.02 トラツグミ：寅年にちなんで
- 22.08 ハッチョウトンボ：世界最小が日本に？
- 22.09 ゴイサギ：醍醐天皇に鷲の王と褒められた鷲は？
- 23.01 松に鶴、「お目出度い？コウノトリ」

アオゲラ雌



アオジ雄



アオバト雄



能登半島地震緊急支援街頭募金活動の報告

山本 常雄

2月3日土曜日 11時から阪神西宮駅南口にて西宮の育成センターや保育園に通う子どもたちとそのご家族(9家族)、ワイズメンズクラブとYMCAスタッフ等総勢 30名で募金活動を展開しました。

子どもたちは1時間前に西宮 YMCA に集合し、むかし西宮でも大きな地震があったが全国の多くの人達に支援して貰って復興することができたこと、既に富山や近くの YMCA の人達が支援活動をしていること、今度は自分達が災害で困っている人達を支援しましょうなどのレクチャを受け駅前に移動してきましたので、子ども達の支援を呼びかける大きな声がよく響き多くの通行の方々特に子供連れの親御さんが子どもにコインを渡して子どもが募金してくれる光景が多く見受けられました。双方の子供たち共他者のために行動することの大切さを学ぶ良い機会となりました。1時間余りの活動でありましたが募金額は10万円の大台を超える成果を収めました。

募金使途としては、被災地近郊 YMCA と協働して行う能登半島地震被災地域への支援活動や YMCA が関係する災害支援団体との協働で行う支援活動に活用されるということで、ワイズからは浅野会長と山本が参加しました。



神戸西クラブ 1月例会 (大田厚三郎さん 瑞宝双光章受賞祝賀会)

山本 常雄

去る1月20日楠公会館で開催されました西神戸ワイズメンズクラブの1月例会に濱ワイズと出席して参りました。この日は昨年の秋の叙勲で瑞光双光章を受章された大田厚三郎ワイズの祝賀会でありました。大田ワイズは神戸栄光教会の重鎮として、また社福) 恵泉寮の理事長として障害者施設『清心ホーム』などの運営を故城純一元神戸ワイズから引き継がれ、ワイズ活動に於いても数回に渉るクラブ会長や2度に渉る六甲部長を歴任されましたが、西宮市役所在職中の49歳から今日まで27年の長きに渉り地元で保護司として(特に近年は須磨区の保護司会会長としても)活躍されて居られ、このたびはその活動に対して褒章受章の運びとなりました。



祝賀会には神戸 YMCA 井上総主事や井出六甲部長も参加され祝辞を述べられたほか杉本 EMC 主査、大野勉・智恵御夫妻、青柳ワイズや保育園の大谷先生も参加されお祝い致しました。

YMCA ニュース

担当主事 森川 俊介

三寒四温とはよく言ったもので、暖かい日と寒い日を繰り返しながら少しずつ春の訪れを感じる今日この頃です。

さて、3月は卒園式や卒業式などが行われ、子どもたちにとっては進級や進学の日となります。育成センターの子どもたちにとっても、3年生が卒業する時を迎えます。4年生になってからは放課後の時間を自分たちで過ごすこととなります。これまで培ってきた力を発揮して、また一緒にすごした友達と一緒にたくましく育てていってほしいです。育成センターでの毎日の関わり方はなくなりますが、地域の中で育てていく子どもたちをこれからも見守っていきたいと思います。

行事報告

YMCA ピンクシャッター

今年も昨年度に引き続き「It makes me happy」をテーマに自分の心が傷ついた時や弱った時、どんな言葉やアクションがあると自分がHAPPY(嬉しい、元気になる、勇気が出る)になれるかをメッセージカードで集めました。ランチや各育成センターなどで取り組みました。「大丈夫?」「がんばれー」「大好きだよ」「一緒にいるよ」「ゆっくり

いこう」という言葉や「声をかけてもらおうと嬉しい」などの言葉や絵が集まりました。中にはそっとしてほしいという意見もありました。それぞれの自分がどうしてほしいかどうしてもらったら嬉しいかを書き出してみると、他の人との違いに気づいたり、周りの人にむけてどんなふうに行動するかにつながると思います。目の前の人はどうしてほしいのか、どう感じているのか、想いをはせること。そしてその想いをどう行動にしていけるかが大事だと感じました。



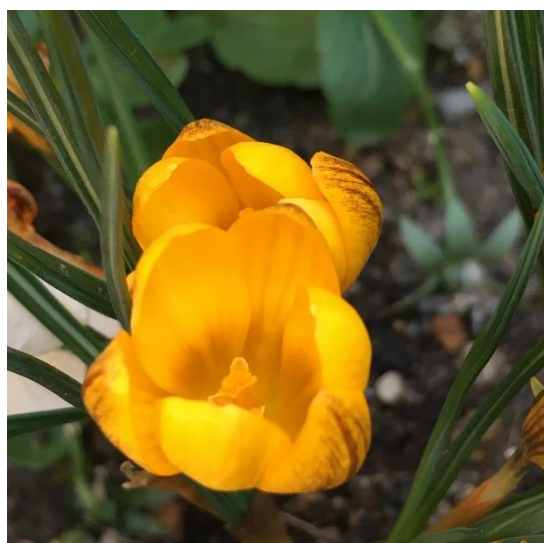
ワイズニュース [今後の予定]

- 3月4日(月) 午後6時30分～ 神戸YMCA
総主事とクラブ会長の懇談会
- 3月8日(金) 午後7時～ 第一例会 西宮YMCA
- 3月16日(土) 午後3時～5時 神戸YMCA
六甲部第2回評議会
午後5時30分～ ヤッチャイ
懇親会 会費 5,000円
- 3月22日(金) 午後7時～第二例会 西宮YMCA
- 3月25日(月) 午後6時30分～ 神戸YMCA
24-25年度西日本区大会実行委員会

編集後記

ブリテン委員 山口 吉郎

★2月後半から暖かい日が続き一気に春かと思いきや3月に入り真冬並みの寒さに。体が温度差についていきません★会長メッセージの通り地球温暖化は事実ですが、その原因が二酸化炭素との偏った議論に世間が終始してるのはお寒い限りと感じます★温度差で弱ってるところに、花粉の飛散が本格化し、目鼻ぐずぐずで眠れない夜が続きます★



クロッカス